

平成 23 年度 国有林モニター会議

平成 23 年 9 月 28 日（木曜日）に、国有林モニター会議を実施しました。

- 開催概要

日時：平成 23 年 9 月 28 日（木曜日）10 時 00 分～16 時 00 分

開催場所：鹿児島県出水市、阿久根市、 熊本県水俣市

出席者：国有林モニター 21 名 他 国有林職員ら

会議内容：1. 利用間伐事業箇所の見学

2. 合板工場の見学

1. 利用間伐事業箇所の見学

見学箇所：北薩森林管理署 嶽山（たけやま）国有林 1097 ぬ林小班

国有林内で行われている利用間伐（*）事業箇所を見学しました。

作業現場では樹木の伐倒や搬出には専用の機械が用いられ、効率の良い間伐作業が行われています。こうした機械を初めて見る参加者も多く、機械の動きや作業の早さに驚きの声が聞かれました。

*木材を切り倒した後、林内に放置するのでなく工場などに運び出して利用するもの。活用型とも。



現場の入り口。図面を見ながら現在地の確認。ヘルメットを装着し林内へ。



作業にあわせて造られた森林作業道を通り伐採現場へ。作業道は耐久性を考慮しつつ最小限の幅で造られる。



ハーベスタ。この機械一台で伐倒、枝払い、玉切り(*)ができる。

*木材を一定の長さの丸太に切り分ける作業



先端のアタッチメントでスギをつかみ、ローラーで送りながら枝を払う。チェーンソーも付いているので適度な長さで丸太を切り分けることもできる。



今後、区域内の約3割の造林木を間伐していく。林業の生産性の向上や効率化が求められている。



「森林・林業再生プラン」など国有林全体の施策や、その中における利用間伐の位置づけなどの説明を受ける。

2. 合板工場の見学

見学箇所：新栄合板工業（株）

合板工場に丸太（国有林から搬出されたものも含む）が運び込まれ、「桂剥き」のように薄い板にされた上で、接着・圧縮され、合板に加工されます。



搬入された丸太。この工場では合板に加工されていく。



丸太の投入口。



工場内の様子。薄い「単板」を重ね合わせて「合板」に加工していく。



大根のように丸太を桂剥きしている様子。出てきた薄い板を適度な長さで切ったものが「単板」。



単板の反り方や水平・垂直方法といった向きを調整しながら、重ね合わせ接着していく。



接着後、圧縮等の仕上げを行い、しなりや強度を持つ合板に加工されていく。